

# おおづまち議会だより

# OZU

2023  
102号  
12月定例会・1月臨時議会



本会議動画配信  
はじめました

議会だよりが  
読めるアプリ  
マチイロ



## CONTENTS

- 一般質問…………… 6
- 特集／体育施設指定管理…………… 15

1月11日 一宇保育園 だこ 風あげ



## おおづまち議会だより OZU 県町村議会広報コンクールで『特選』受賞!

令和4年11月24日熊本県町村議会広報研修会・コンクール表彰が行われ、「おおづまち議会だより OZU」が参加31自治体の中で最上位の『特選』を受賞しました。表彰を受けたのは2022年8月発行の100号です。

全体として



- ① 節目の号に合わせて意欲的な紙面づくり。素材も幅広く内容も充実、読み応えがある。
  - ② ページの端に示した目次カテゴリーが見やすい。という評価をいただきました。
- 100号は多くの皆様にご協力いただいた号なので特に嬉しい受賞になりました。
- これからも皆様に読んでいただける身近な議会だよりを目指してレベルアップしていきます。(広報委員)

次回定例会は **3月2日(木)開催予定** 日程 3月2日(木)～17日(金) (予定)  
会場 庁舎 4階 議場  
(日程は変更になる場合があります)

### 議会広報編集特別委員会

議長・桐原 則雄  
発行責任者

委員  
大村 裕一郎  
田代 元氣  
時松 智弘

副委員長  
豊瀬 和久

委員長  
三宮 美香

### 編集後記

▼2023年が始まりました。新年を迎え、まず祈念したいことは世界平和。ウクライナの戦禍が収まることを願うばかり。▼TSMCの隣町進出で地元経済の動向は大きく変化。町も大規模工業団地整備や人口増加に伴う課題が山積。今年も町議会は活発な議論を交わします。▼今年の干支は癸卯(みずのとう)「寒気が緩み萌芽を促す年」と言われています。コロナ禍の停滞から希望が芽吹く年に。▼町政推進にむけ、未来を見据えた議論を議会だよりに掲載して参ります。ご期待ください。

編集委員 時松 智弘

この議会だよりは、リサイクル推進のため再生紙を利用しています。

## 議会を観ての生の声

12月定例会の傍聴者数のべ33人、ライブ配信再生回数 720回  
録画配信再生回数 605回(1/24時点)

### 指定管理者制度への 速やかな移行に期待



やまもと ゆきのよ  
山本 幸延さん  
(高尾野)

働く人たちにとって、議会を傍聴する時間を創ることはハードルが高いですが、インターネットによる傍聴が可能になっている現在の大津町議会の取り組みはとても有意義であると思います。

指定管理者制度への移行が議題になると聞いて期待して拝見したのですが、今一つ議論が分りづらいものになっているのが残念だと感じました。

社会体育施設の指定管理者制度への速やかな移行は施設の充実化や利用者サービス向上の為ぜひ必要だと考えます。

スポーツの森の利便性を活かし宿泊利用や試合誘致につなげていく第一歩と考えます。将来を見据えた議論を期待します。

令和5年2月1日 第102号 発行 熊本県菊池郡大津町議会  
編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 株式会社キヤップ  
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096) 293-8989

定例会総括

委員会レポート

一般質問

出席子育て  
応援交付金

大学生レポート

委員会研修レポート

特集

広報コンクール

傍聴者の声

### 議員の賛否を公開します

	上程された議案・概要	桐原	荒木	津田	永田	坂本	大塚	佐藤	豊瀬	山本	山部	三宮	西川	時松	田代	大村	賛成	反対
		則雄	俊彦	桂伸	和彦	典光	龍一郎	真二	和久	富二夫	良二	美香	益雄	智弘	元氣	裕一郎	(○)	(●)
12月定例会	体育施設指定管理検討特別委員会の設置	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
	町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2
	学校教職員の充足を求める意見書の提出	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
1月臨時議会	体育施設指定管理者の指定	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 棄は(棄権) 欠は(欠席) 早は(早退)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

## 議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)

本会議動画配信



山部良一議員

**問** 指定管理者指定の懸念材料としてパートや派遣労働など非正規雇用が増えてくるのではないかと不安定で劣悪な環境での労働が今までも指定管理者を導入している市町村で起こっているかどうか。

**答** 人材のマルチジョブ化によるサービス向上の取組をされようとしておられる。継続的な運用、運営をしていただくためには働く人が大事になってくる。指定管理が始まったらチェックをしながら確認をしていきたい。



山本富一議員

**問** 職員の定員に関し、増やすということだが、23名の定員増で十分なのか。

**答** 業務量調査をして23名定員増を提案している。また専門性を有する職員等については、社会人枠も含めていろんな形の採用ができるように検討していきたい。



荒木俊彦議員

**問** 保育補助者雇上強化事業補助金は資格のない無資格の人を雇い上げるといったことだと思うが、何人分、一人当たりはどのくらいの金額で計上されているのか。

**答** 保育士の業務負担軽減であるとか、保育士の人材確保にもつながる事業である。申請が、当初の見込みよりも増えているため補正をお願いしている。8園に対して18人の雇用を見込んでいる。



豊瀬和久議員

**問** 新規の多言語通訳システムと、AI通訳機はどこで、どのような使い方を、どのような効果を期待しているのか。

**答** AI通訳機の使途は福祉的な相談あるいは住宅の相談などいろいろあると思う。そういった場合は直接通訳の方が間に入って画面で直接相手とやりとりする仕組みもあるので、2段階構えでの住民対応を試行したい。



佐藤真二議員

**問** 護川小学校の屋根の改修のため、仮設校舎が必要とのことだが、公共施設管理個別計画では屋根改修の必要性は示されていない。仮設校舎の設計、改修工事の計画等の説明が十分ではないか。

**答** 護川小学校の仮設校舎ということで債務負担行為を上げさせていただいた。雨漏り等が発生はしていたが部分的な補修で対応していた。非常に雨漏りの状況がひどくなり、来年度、仮設校舎を建設して工事を進めていく。



時松智弘議員

**問** 浄化センターで更新される予定の汚泥脱水機は、産廃として委託する汚泥の減量化に貢献するが、その他広大な施設を利用した再生可能エネルギーの活用などは検討しないか。

**答** 汚泥脱水機の導入により汚泥の含水率を下げ下水道汚泥の減量化、委託処理料の低減が可能になる。電力の自給対策も下水道事業団からでは、今後検討が必要であると課題も出されている。

# 誰もが住みたくなるまちへ

## 大津町のこんなことが決まりました



12月定例会の議案等は  
予算……………5件  
条例……………5件  
人事……………3件  
その他……………2件

4億7620万円を追加し  
総額172億2770万円

**pick up 1** 新工業団地  
基本計画策定など整備費 **1,505万円**

**pick up 2** 町職員定数 219人→242人 (23人増)  
令和3年から4年度にかけて業務量調査を実施  
令和5年4月から定数を242人へ

**pick up 3** 町施設管理者の指定  
継続審査とし特別委員会を設置し可決  
詳細は15ページ

**pick up 4** 学校職員の配置の  
充足を求める意見書  
児童生徒の増加に加え、特別な支援を必要とする児童生徒も増えている。しかし、教職員の配置不足が続いており本年も9人が不足(5月1日時点)している。教育環境の充実のために人員の充足配置を要望。



1月臨時議会の議案は  
予算……………1件  
その他……………1件

3905万円を追加し  
総額172億6675万円

**pick up 1** 出産・子育て  
応援交付金 **4,500万円**  
詳細は12ページ下段

**pick up 2** 物価高騰対策事業保育所等分補助金 **192万円**



※ 訂正 101号16ページ  
「PTA役員の皆様との意見交換会」古庄利光氏のお名前が間違っておりました。正しくは以下のとおりです。  
誤)古庄利之 → 古庄利光 訂正しお詫び申し上げます。

# 経済建設委員会 レポート

## 半導体企業の進出で 大津町はどのように変わるのか



工業団地

**Q 工業団地への企業進出は**  
現在のスケジュールで進めても、大津の地価は高騰しているため、企業側は資本投資が高ければ進出しない。今後、計画を策定し、進めていくことはできるのか。

**A** 工業団地整備には適地調査が必要になる。近隣市町に比べ本町は後発的対応となったが、委託期間の短縮などスピード感を持って対応していく。シリコンアイランド九州の復活も掲げられていることから、この機を逃さず将来を見据えた工業団地整備に取り組む。

**Q 団地の開発として、農業や地下水など、環境に影響しない開発である**  
ことを説明できないといけない。水問題、農業生産の問題なども検討したかどうか。

**A** 工業団地整備は町がビジョンを描き進めていくことが最も重要であり、農業は町の基幹産業であり、農地や地下水も重要な資源である。今後も県や関係団体と連携を図りながら取り組んでいく。



工業団地造成記念碑

### 工業団地造成で 周辺への影響は

# 文教厚生委員会 レポート

## 安心安全な サービスの提供を

**Q 事業の概要は。保育士の負担軽減は達成できているか。**

**A** 補助の対象は、保育士資格を有していない方で保育に関する40時間以上の研修や実践等を受けている方となる。

補助金の割合は国県が7/8、町が1/8で、定員により基準額は異なるが、基準額内であれば何人でも雇用が可能である。

また、雇用されている園によると、負担軽減に効果があると聞いています。



町内の保育園

### 保育補助者雇上 事業の目的と効果は

**Q 総合体育館北側駐車場の修繕はどの範囲を行うのか。**

また、指定管理導入に向けて、点検等はおこなっているのか。

**A** 段差部分に土留めブロックで土砂の流出を防ぎ、駐車部分には、転落防止の車止めを設置する。

また、不具合がないか点検をしているが、老朽化している施設も多いので、指定管理導入後は、管理者と協議し、改善計画を立てていく。



総合体育館北側駐車場

# 委員会レポート

## 総務



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

## 経済建設



## 文教厚生



総務委員会	町全体の総務・企画・会計・監査、環境、住民、議会等
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、農業
文教厚生委員会	健康、福祉、子育て、教育

# 総務委員会 レポート

## インバウンド復活対策と 役場働き方改革は



雰囲気づくりの工夫に期待

**Q 魅力あふれる  
ビクターセンター整備を**

**A** くまモン活用地域資源創出事業の全体プランは。ビクターセンターを大人の隠れ家的コンセプトで県及びデザイン公社が提案する待合所兼作業小屋へ整備すると共に、作業服のくまモンのオブジェを設置する。その後は空港ライナーのくまモンラッピングと夜間のくまモンスポットライト設置を行い、他の観光スポットと差別化を図る予定である。

**Q 職員数が23人不足する**  
という業務量調査の試算だが、人口4万人を目指す本町では将来不足するのではないか。

また、ICTの活用で業務を3割削減できるとあるが、根本は事業の「必要性」「有効性」「代替性」を考慮した業務の縮小・廃止ではないか。

**A** 今後の業務改善状況や定年延長等の制度完成を考慮しながら人員数は検討していく。事務量として予算に關する業務量が多く、これを効率化、簡素化する必要があると考える。



住民サービスの向上の対策を

## Q 学校給食無料化に取り組む時期に来ている

### A 給食無料化ではなく学校施設の改修を優先



大津町の給食

やまもと ふじお  
山本 富二夫議員



Q 宇城市が、小・中学校給食費を令和6年をめぐりに無料化することだ。  
菊陽町の新町長も政策提言の中で給食費の無料化に取り組むとされている。  
大津町としては、給食費の無料化に取り組む考えはあるのか。  
また、財源確保の取り組みはどうか。

A 子育てや、教育支援に関する施策の中で、優先順位をどのように整理するかが課題である。  
現在、就学援助を受給されている方の給食費は、学用品や、修学旅行等の校外活動費と同じく無料となっている。  
また、令和3年度より、就学援助制度のプッシュ型通知を開始することで支援から抜け落ちる方が出ないような取り組みを実施している。(町長)

#### その他の質問

- ・子ども食堂に対し、助成金場所応援をすべきでは
- ・外国人への対応に向けた人材育成

## Q 地の利を活かした積極的な誘致を

### A 県の動向を注視し、検討を進めたい



リパーク藤崎台球場

たしる げんき  
田代 元気議員



Q 近年のホンダ熊本硬式野球部の活躍や、大津町出身初のプロ野球選手のある方が野球界で活躍している。  
そのような中、蒲島知事が新球場の設置を検討する意向を示された。  
本町は空港アクセス鉄道の肥後大津駅からの延伸や九州横断道路大津熊本道路の事業化など立地条件も最適であり、運動公園周辺や経済の活性化にも繋がると考えるが、県に対し、積極的に誘致を行う考えはないか。

A 県営野球場の誘致はスポーツの町として益々のブランド向上に繋がると捉えている。  
今後、県の動向にも注視しつつ、町としてのメリット、デメリットを整理し、町のためになると判断したら積極的に誘致に取り組みたい。  
また、町として待つだけでなく、県に対し、積極的に情報収集を行い、町の魅力も発信しながら検討を進めて行きたい。(町長)

#### その他の質問

- ・任意接種ワクチンの助成について

# 一般質問

## 町政を問う 12月定例会

### 一般質問に16名中12名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信を行っています。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。  
※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

## Q 樹木を伐採するなど、適切な管理を行うべき

### A 地権者の対応が難しい場合は、町による対応も検討する



樹木や竹が生い茂っている状態の「壺町筋」

とよせ かずひさ  
豊瀬 和久議員



Q 疎水100選に選定された案内看板が設置してある付近に樹木や竹が生い茂っている。このまま放置していたら伸びるばかりで、大雨のときに上井手の流れを阻害し、倒れて流出したものが橋にひっかかり、洪水を引き起こすなど、治水上の問題となる恐れがある。  
洪水被害に対する地域住民の不安を解消させるためにも、早急に伐採すべきではないか。

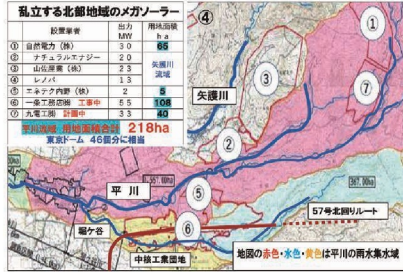
A 樹木が生い茂っている場所は、個人所有で、所有権の問題もあるので、用水管理者である大菊土地改良区と連携を図り、土地の所有者にご相談し、上井手に伸びている防災上危険性の高い樹木や竹の伐採をお願いしたい。  
一方で、地権者による対応が難しい場合は、町による対応も検討する必要があると、認識している。町としても具体的に調査をしながら進めたい。(町長)

#### その他の質問

- ・インクルーシブ防災について
- ・アマチュア無線奉仕隊との連携について
- ・コミュニティボードの設置について

## 町北部、平川上流のメガソーラーに規制が必要

### A 条例を制定し、無秩序開発を抑止する



あらかし 荒木 俊彦議員



Q フィット法により、太陽光・風水力発電が電力の20%を占め、再生エネ普及には大賛成だが、町北部での山林を切り開いてのメガソーラーは、土砂洪水、山火事、自然破壊などの心配、危険の声がある。

特に平川の上流域にメガソーラーが乱立し、さらに九電工業株式会社が「林地開発許可」を申請しようとしている。町民の命と安全を守るため「これ以上の山林開発によるメガソーラーを認めない」という覚悟が必要ではないか。

A 町北部の山林に10メガワットを超える大規模な太陽光発電施設が設置され、山林開発による発電設備設置で土砂流出や濁水の発生、景観への影響など、町北部平川流域の住民の皆様からの心配を実感している。

現在検討している条例で適切な地域への誘導や、地元住民への丁寧な計画説明、事業開始後は、事業者・住民・行政の三者による協議会の参加を義務づけし、無秩序な太陽光発電の開発に抑止力を持たせたい。

(町長)

**FIT法とは** 太陽光・水力・風力などで発電した電気を、国が決めた価格で買い取るよう、電力会社に義務づけた制度。この※買取にかかった費用の多くは、国民の電気料金に上乗せされている。

**その他の質問**  
・公民館などの使用料の改善

## スポーツの町大津のさらなるアピール

### A 週末には各種大会が開催される



ナイターでの練習が多い人工芝サッカーコート

さかもと のりみつ 坂本 典光議員



Q 金田町長は多面的なデジタルの活用や英語、多様性などを用いた新しい町政を展開されると思う。

だが熊本の東部の中心都市として発展していくためには、今まで先人が育ててきた「スポーツの町大津」も大きくアピールすべきではないだろうか。

近隣の市町村と比べて大津町はその中心となるべき施設を持っているし、交通の利便性も良い。

荒木時彌町長の時代、平成10年に大津町運動公園（スポーツの森）

その後運動公園内には弓道場、総合体育館が完成し、バスケットボールやバドミントンなど様々なスポーツ大会も開催できるようになった。

平成29年には多目的広場のサッカー場2面がナイター設備を備えた人工芝コートにリニューアルされた。週末には各種大会が開催され、県内外からもたくさんの方が集まっている。

まだまだ引き出せてない価値がある。(町長)

**その他の質問**  
・職員採用について  
・大津町教育委員会点検・評価報告書について

## 若者主体の地域イノベーションの推進を

### A 若者が起業できる環境整備に取り組む



**その他の質問**  
・子育て支援・日本一を目指すため 公立保育園「保育士・幼稚園教諭処遇改善臨時特例事業」について

やまべ 山部 良二議員



Q 本町ではTSMCの進出などにより関連企業の誘致が動き始めているが、本来なら若者の起業支援力を入れる必要があり、地域での協働やネットワーク構築により新しいことにチャレンジ出来る「内発的地域イノベーションエコシステム」と産学官の密接な連携による産業創出・支援を促進する「地域イノベーションエコシステム」の2つの方向性から議論が必要である。また少量の半導体チップを短期間で製造できる「ミニマルファブ」生産システムを取り入れるなど、まだ世間で知られていない先進技術を集積し地域で新しいことにチャレンジでき、若者が起業しやすい環境を整えるべきではないか。

A 若者の起業支援に対する取り組みは、ウイズコロナ時代を見据えた起業支援「起業創業事業費補助金事業」を実施している。また町内に少なかったIT企業が増加し、働く場の中から起業を目指す方もいると期待している。支援制度と合わせた動きを誘発したい。なお少量の半導体チップを低コスト・短期間で製造できる「ミニマルファブ」生産システムの実用化は、本来なら数千億円かかる設備投資額を1000分の1程度に抑えることが出来ると言われている。12月補正では工業団地関連予算を計上しており、TSMCなどの上の「大量生産メガファブ」だけではなく「ミニマルファブ」生産システムの動向も注視していきたい。(町長)

## 理系人材確保のため、奨学金制度の充実を

### A 産学官連携は重要、別のアプローチを模索する



理系人材確保のため奨学金や奨学支援施策を

ときまつ 時松 とむひろ 智弘議員



Q 九州地方知事会をはじめ様々な団体が、デジタル人材の活用や人への投資が重要であるという認識の上、産学官の分野でのデジタル人材不足をどうするか、を課題に挙げています。

国立教育政策研究所の調査によれば、高卒後進路を就職とした生徒は学力ではなく、経済面の問題があり高度な進学の道を閉ざされている人がいることがわかっています。

これは地域、国家の損失であり、地域のニーズに合わせ基礎自治体も力強く取り組むべきです。大学等修学支援補助のため、奨学金等を設立する考えはないか。

A 理系人材の育成確保には、町だけではなく、国や県、各種プロジェクト、大学や高等専門学校、教育機関といった、あらゆる産業、産学官の連携が重要と考える。

製造系人材サービス大手が、町内に事業所を開設する予定となっており、半導体の製造設備の保全に通じた人材の育成、企業の要請に応じた人材創出を計画している。

奨学金を活用した人材確保について、県が実施する奨学金返還支援制度等の周知に積極的に努めるとともに、別のアプローチとして、地元企業の魅力発信や高校生への地元定着等に引き続き取り組む、人材確保に努めたい。(町長)

**その他の質問**  
・熊本連携中核都市圏の環境対策と町の施策の整合について

## Q デジタル化に取り組む事業所に対する支援

### A 今 どの様な支援が必要か商工会等連携し取り組む



にしかわ 面川 秀貢議員



Q 国ではデジタル化に取り組む事業所に対し支援がある。  
又熊本県でも、IoT導入計画補助金と言う支援がある。  
さらなる事業所発展の為、もう一歩踏み込んだ町の姿勢が必要であり、それを踏まえ町独自の支援が必要と考える。

Q 町ではデジタル化に取り組む事業所に対し支援がある。  
町では財政状況等も含め、検証し、IoT導入資金、支援を含め、今どのような支援が求められているか事業所や商工会等の意見を聞き、今後の事業者支援に繋げる。(町長)

その他の質問  
・人材育成の為の基本姿勢について  
・本町で創業を検討している事業所に対しての支援について

## 1 学校PTAについて 2 通学路の安全確保について

ながた かずひこ 永田 和彦議員



1 学校PTAについて  
論点  
・東京都小学校PTA協議会が7月の理事会において日本PTA全国協議会からの脱退を決めた意味は深い  
・PTAの主な目的は、教職員と保護者が協力し合って学校運営に携わり、子どもたちの教育環境をサポートすることだが相違ないか  
2 通学路の安全確保について  
論点  
・IoT(情報技術)やAIなどを駆使したデータ分析での取り組みが始まっている  
・時代の進歩に合わせた対応に成っているか  
※ 実際の議論はインターネットでご覧ください  
※ 町民の皆様への厳しい御意見お願ひ致します

## Q 学校プラットフォームに必要なもの

### A 専門人材の日常的な配置が必要

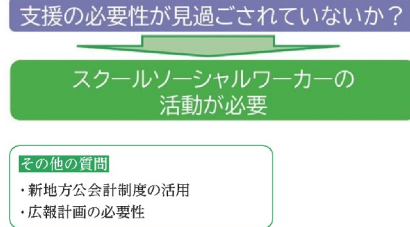
就学支援の申請率	ヤングケアラーの割合
小学校 20.5%	県全体 3.3%
中学校 25.0%	大津町 0.3%

申請できるのにしない世帯が多い。不必要な場合を含め、理由は把握できていない。  
県全体に比べて割合が極端に低い。実態を把握できていないと考えられる。

さとう しんじ 佐藤 真二議員



Q 学校プラットフォームは、学校を子どもへの貧困をはじめとする様々な課題の発見から支援まで立ち向かうためのプラットフォームとして位置づけるといふ考え方。  
現在、菊池教育事務所にスクールソーシャルワーカー(SSW)が5名配置されているが、派遣を要請しても最短で1ヶ月後の対応になるという現状。  
学校PFはSSWだけで実現するわけではないが現状と学校PFが目指すものとの間にギャップを感じる。



今行うべき人への投資だ。時間をかけず体制整備を行うべき。  
A 学校PFとしての機能は課題への早期対応と改善状況を見たとき、必ずしも十分とは言いつれない状況と考えている。専門的な人材の日常的な配置があれば、充実に図られるとと思っている。  
予算と人材確保には町も苦労している。時間をかけながらも、人を配置していく必要がある。(教育部長)

## Q 人口減少エリアへの対策は

### A 課題解決のため施策を推進していく

おおむら ゆういちろう 大村 裕一郎議員



Q 大津町の中心から見ると、北に位置する行政区と、東に位置する行政区に関しては、平成30年度から令和3年度間だけ見ても、一部を除き、軒並み高齢化率が約5%から10%程度上昇しており、人口に関しても、軒並み減少の一途をたどっている。  
この状況が続くのであれば、区役などの地域を維持するための活動も出なくなるなり、人の手が入らない場所からは人が離れていき、最終的には、地域の消滅も十分に考えられる。  
こういった状況を踏まえ、この状況は喫緊の課題であると捉えるが、町長がどのように考えているのか、その考えを問う。  
A 移住定住を促すためには、都市部とは違った働き方、住みやすさや居住地としての魅力を高める必要があると考えている。  
また、農業面では、北部で進めている基盤整備事業による農地の整備は、今おられる方にとっても魅力的なものになるのではないかと考えている。  
町独自の取組を進め、本町の末長い発展のために、切れ目のない施策を展開することも、町民企業などにも連携し、地方版総合戦略も基にしながら、計画的に、まず周辺部の課題を解決するための施策を推進していく。(町長)

その他の質問  
・リカレント教育について

# 若者の視点 尚網大学生によるレポート 30



## 大津町議会(一般質問)傍聴の感想

12月9日、12日、13日に行われた大津町議会一般質問をオンライン傍聴し、その後社会学概論という授業の受講生に議会傍聴の感想をまとめてもらい、授業内で発表会を行いました。

### [ オンライン傍聴して ]



現代文化学部 1年  
まさおか そらね  
正岡 空音

議員による一般質問「台湾からの移住者をはじめとする外国人への対応に向けた人材育成について」をオンライン傍聴し、共感を覚えた。

TSMC が熊本に工場を建設するという話はニュースで耳にしたことがあったが、あまり身近なこととして捉えていなかったため、今熊本の各市町村に外国人への様々な対応が求められていることに気付かされた。議員の「人」に対するサポートがより重要だという視点には私自身賛成で、企業や町などの大きな枠組だけでなく個々人が外国人への理解や思いやりの気持ちをもつことがこれから必要になると改めて感じた。金田町長の回答には、職員全体に向けた研修だけでなく、チャレンジ精神をもった職員を支援する取り組みも進めていきたいとの声があり、多文化共生や異文化理解に興味をもつ私にとって、将来仕事に就いた際、その地域からの支援を受けてより深い知識を身に付け、業務に役立てることができるかもしれないと希望をもつことができる良い機会だった。



現代文化学部 1年  
ふじもと あやか  
藤本 彩花

このたびの一般質問「インクルーシブ防災について」、「公立保育園、保育士・幼稚園教諭処遇改善臨時特例給付について」、「子ども食堂の運営について」をオンライン傍聴した。

質問の内容や回答を聞いていて、議員側の意見と住民側の意見が必ず一致するわけではないことに少し驚いた。また町側にとって都合が悪いことと、住民側にとって都合が悪いことがあり、その都度状況に対する受け取り方も違うように感じた。立場や見る方向が違うことによってすべきだと考えるものが違うので、意見を述べる際に、自分や自分の周りの人々の意見だけではなく、もっと広く意見を聞くことが大切なのだと感じた。

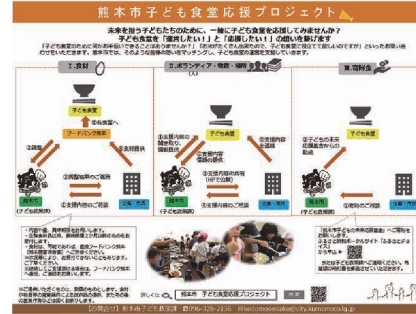
また、最近テレビで取り上げられたニュースから問題を提起することも大事だと思うが、自分のいる地域の状況は全く同じわけではないので、よく調べてみることも大事だと考えた。

## Q DXを推進し食支援マッチングを

### A まずは関係団体との協議の場を設定



さんのみや  
三宮 美香議員



熊本市のホームページから

その他の質問  
・駅周辺の整備とそこから波及するまちづくり

現在、町内の地域子ども食堂はそれぞれアナログの方法で活動しており、そこを支援している人、また活用している人への情報が十分に届いていない。活動をすすめる中での課題として「家庭・地域・行政との連携と情報共有」が出ている。そこで、デジタルの力を有効に活用し、食支援マッチングのプラットフォームができないか。熊本市はすでに行政が協力活動している。

食料等を提供する側、子ども食堂運営側の3者に情報が確実に行き渡る仕組みづくりは重要で、従来のアナログ対応を超えたデジタル化の時代に応じた仕組みづくりができること、子ども食堂に対する理解や住民参加、運営の効率化につながるが、町福祉の向上にもまずは運営者と町、社会福祉協議会が一体となった協議の場を設定したい。(町長)

## 出産・子育て応援給付金事業

# 妊娠・出産した人に計10万円支給

2022年4月以降に生まれた子どもを対象に、妊娠時からの伴走型相談支援と、妊娠・出産時に計10万円を給付する経済的支援を一体的に実施します。

### 事業内容

#### 経済的支援

給付額

- 妊婦1人あたり 50,000円
- 子ども1人あたり 50,000円

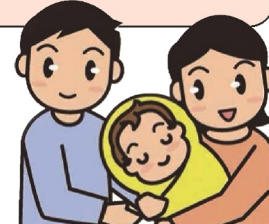
一体的  
に実施

#### 伴走型相談支援

妊娠届出時  
アンケート調査及び面談

妊娠8カ月頃  
アンケート調査及び面談  
(面談は希望される人など)

出産後  
アンケート調査及び面談  
(乳児訪問と同時実施)  
※妊娠期から特に低年齢期(0~2歳)の子育て家庭へ継続的に支援



# 町内体育施設、指定管理移行へ

議案第74号（大津町運動公園ほか8施設の指定管理者の指定について）は12月定例会最終日に荒木俊彦議員より提案があり、議員全員による特別委員会を設置し継続審査となりました。

令和4年12月27日と令和5年1月13日に特別委員会において審議した主な内容と討論は以下の通りです。

また、令和5年1月19日に開催されました臨時議会において、賛成多数により可決・承認されました。



**質疑：**公の施設の指定管理に係る運営指針が定められている中、今回のプロセスにおいて、指針に沿った選定がおこなわれたのか。

また、情報公開について規定があるにも関わらず町民に公開されていない。選定が決まった後は町民に公開するべきではなかったのか。

**答弁：**指針通りの運営会議という正式な名称ではなかったが、それと同等の会議を実施し、検討を進めてきた。

また、情報公開については、先方のテクニカルな部分などが含まれており、公開されないものとして作成されたことを確認している。本来なら、概要版だけでも公開できるよう要項を定めるべきであった。今後、公開できる概要版等を作成してもらえよう、業者と相談している。

**質疑：**施設の修繕について、予算が取れていない修繕箇所はいつまでに完了するのか。

また、今回の点検結果以外の修繕箇所も複数見受けられる。指定管理に出す以上、町がいつまでに修繕を行うと示す必要があるのではないか。

**答弁：**予算が取れていない修繕箇所については、個別施設計画の中で整理し、事業者には、いつ頃改修できるのか示していく必要があると考える。

ただ、一度にすべての改修を行うことは難しいため、利用者の意見や指定管理者とも協議し、早急に取り組むべきものなど、優先順位をつけて計画的に行っていくたい。

**質疑：**施設は町民の財産であるという大前提を考えた時に、役場で施設管理課を作り一元的に管理をするべきではないか。

また、今回のような複数の事業者で効率的な管理ができるのか懸念が残るが、町の見解は。

**答弁：**全てを民間に任せただけでなく、最終的な責任は町が持ちながら、民間のノウハウを生かして進めたい。

また、指定管理期間の5年間も課題等を解決していき、制度自体の検証も進めていきたい。

## 討論 施設の管理はノウハウを持った専門の町職員が行うべき

永田 和彦議員

施設の管理については町が行うべきであり、ノウハウを持った専門の職員が総合的に管理する必要がある。また、今回のルネサンスと町のスポーツ関係団体が組むことで、今後、競争が起こらなくなるのではないかと考えている。

よって、今回のやり方には不備が多いと考え、反対する。

## 討論 指定管理による体制強化は住民サービスの向上につながる

豊瀬 和久議員

限られた予算の中で管理・運営を行うことは町の長年の課題であり、指定管理による体制の強化は住民サービスの向上につながる。今後、民間のノウハウやブランド力などを活かし、より魅力的な施設や運営に変えていくという制度の理念通りに進めて行くべきであるため、賛成する。

※1 特別委員会 常任委員会のほかに、特定の事件を審査または調査するために設置する委員会。  
※2 継続審査 委員会が、議会の議決により付議された特定の案件について、閉会中も引き続き審査を行うこと。

# 総務委員会 視察レポート

## 視察テーマ

- 1.議会ハラスメント根絶条例について（埼玉川越市）
- 2.メガソーラーに関するトラブルと規制条例について（埼玉日高市）
- 3.路線バス「めぐるん」について（群馬県藤岡市）



藤岡市では永年懸案となっていた公共交通対策と防災拠点整備の先進的施策を体験いたしました。今回の視察を通じてそれぞれの施策の内町に取り入れるに相応しいものがあるれば提案して参ります。

総務委員会は11月8日から10日にかけて埼玉県川越市及び日高市、群馬県藤岡市の3か所を視察しました。川越市では議会ハラスメント防止条例の制定に至る経緯及び現在の状況について詳細を伺うとともにコンパクトシティ強化の取り組みについて意見交換いたしました。日高市では太陽光発電施設、いわゆるメガソーラー対策について環境保全対策と併せ現状の説明を受けました。総務委員会では令和5年度予算要望として太陽光対策を掲げており、参考になりました。

## 視察テーマ

- 1.和光市広沢複合施設「わびあ」について（埼玉県和光市）
- 2.都立 荏原公園「みんなのひろば」について（東京都世田谷区）
- 3.まちのこども園 代々木公園について（東京都渋谷区）

# 文教厚生委員会 視察レポート

和光市では、市民連携（PFI）事業により建設された、「和光市広沢複合施設わびあ」を訪問し、子ども一人ひとりに合った施設の運営状況や隣接する認定こども園を視察しました。次に、世田谷区では、「都立荏原公園 みんなのひろば」において、本町でも計画予定であるインクルーシブ公園を視察し、説明を受けました。渋谷区では、「まちのこども園 代々木公園」を訪れ、都会の真ん中にありながら自然を感じられる施設を視察しました。



今回の視察は、本町でも計画予定の事業の先進地という点もあり、有意義だったと思います。今後、町の特性を活かした施設整備を行うよう努めてまいります。